電話作戦マニュアル　例

もしもし、●●さまのお宅でしょうか。

お忙しいところ（時間帯に）大変失礼いたします。（※昼食、夕食どきは丁寧に…）

衆院選で〇〇党から立候補しております「〇〇〇〇」事務所です。

10月22日に行われる衆議院議員総選挙の件でお電話差し上げました。

社会福祉の専門家、〇〇歳の新人の「〇〇〇〇」です。現在、大変厳しい戦いをしていまして、**当落線上で必死に争っています**。ぜひともお力を貸していただきたいです。「〇〇〇〇」です。よろしくお願いいたします。（涙ながらに訴える感じ！）

《話をゆっくり聞いていただけそうであれば》

* 「〇〇〇〇」はご存知でしょうか？以下、サンプル
小学生の頃から、福祉関係のボランティアに携わっていました。衆議院議員秘書を経て、今年の◯月◯日に〇〇党から公認候補となり、現在全力疾走しております。現状、「〇〇〇〇」、大変厳しい戦いをしていまして、**当落線上で必死に争っています**。
●●さまのお力添えを頂けないでしょうか。
どうか「〇〇〇〇」に1票、ご検討のほど宜しくお願い致します。
ぜひ、ご家族やお知り合いにもお伝え頂ければと思います。
お忙しいところ、ご丁寧にありがとうございました。
「〇〇〇〇」です。失礼いたします。

＜注意事項＞

* + 留守番電話を残してください。
	→突然のお電話失礼いたします。私、〇〇党「〇〇〇〇」事務所です。このたびの10月22日の衆議院議員総選挙にて、〇〇党から「〇〇〇〇」が出馬しております。社会福祉の専門家、〇〇歳の新人です。**当落線上で必死に争っています**。ぜひとも、お力を貸していただきたくお電話差し上げました。お忙しいところすみません。よろしくお願いいたします。失礼いたします。
	+ 折り返しの電話は出られなくても結構です。
	+ 「どこでこの番号を知ったのか」→電話帳を見て電話をしています。